

ヒューマンコミュニケーション (Human Communication)

社会人としてのマナーを学ぶ (social communication)

(医 ((保)1年))

關戸啓子・教授 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

2単位 前期 金 7・8

【授業の目的】 将来の医療従事者として必要な人間力を高め、学生自らのコミュニケーション能力を向上させるため、本授業ではまず社会人としての基本的なマナーを学習することを目的とする。患者や同僚・他職者と良い人間関係がとれるようになる一助とする。

【授業の概要】 この授業では特に、基本的な社会人としてのマナーやコミュニケーション技法を基礎から教授する。授業方法は、参加型のワークを基本として、学生自らが望ましいマナーや態度、コミュニケーションについて検討し、最も望ましいと考えられる方法を導き出すという流れで行う。さらに、社会人としての医療従事者のマナーについては、基本的な知識について説明した上で、模擬体験できるようにロールプレイングを行う。

【キーワード】 社会人としてのマナー、コミュニケーション、人間関係、医療従事者

【到達目標】

1. 社会人として必要なマナーについて説明できる。
2. 社会人にふさわしいコミュニケーション方法について説明できる。
3. 患者と良い人間関係を築くために必要なマナーや態度の概要が説明できる。
4. 職場で良い人間関係を築くために必要なマナーや態度の概要が説明できる。

【授業の計画】

1. 導入、グループ分け、グループワークの進め方について
2. 「気持ちの良いあいさつをする」ためのグループワーク
3. 最も望ましい「気持ちの良いあいさつをする」方法の検討
4. 「教員へ報告の電話をする」ためのグループワーク
5. 「教員へ報告の電話をする」最も望ましい方法の検討
6. 「教員へ質問のメールを送信する」ためのグループワーク
7. 「教員へ質問のメールを送信する」最も望ましい方法の検討
8. 「懇親会のご案内」の手紙を作成するためのグループワーク
9. 「懇親会のご案内」の最も望ましい手紙の検討
10. コミュニケーションの体験:思いやりゲーム
11. 社会人としての医療従事者のマナー (基礎知識編):患者に対して
12. 社会人としての医療従事者のマナー (実践編):患者に対して
13. 社会人としての医療従事者のマナー (基礎知識編):職場において

14. 社会人としての医療従事者のマナー (実践編):職場において

15. 定期試験 (課題レポート)

16. 総括授業 (授業の評価とまとめ)

【教科書】 適宜プリントを配布する。

【参考書等】 村尾 誠, 江川隆子監訳:ヘルスケアのためのコミュニケーション, 廣川書店, 1999.

【成績評価の方法】 成績はグループワークへの参加姿勢 (20%), 授業への取り組み (20%), レポート (60%) によって総合的に評価する。

【再試験の有無】 ペーパーテストによる再試験を実施する。

【受講へのメッセージ】 授業は基本的に学生参加型なので、積極的に参加して発言すること。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220807>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 關戸 (088-633-9035, sekido@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 毎週水・金18:00-19:00 保健学A棟1階看護学講座教員研究室(關戸))